



メタノール燃料内航ケミカルタンカーの建造決定

国華産業株式会社（東京都港区:代表取締役社長 今川 公史）は、この度メタノールを主燃料とする内航ケミカルタンカー「以下、本船」の建造を決定致しました。本船建造は、興亜産業株式会社（香川県丸亀市:代表取締役社長 眞砂 徹）へ発注、2026年9月末竣工を予定致しております。

現在本邦では、内航海運の二酸化炭素（CO₂）排出削減目標を、2030年度時点で2013年度比約17%減（約181万トン減）としておりますが、新たに2040年度時点で2013年度比約36%減（約387万トン減）へと、一層厳しい新たな目標を反映すべく作業が進んでおります。

内航船舶の脱炭素化に向けては、様々な代替燃料に期待が集まる中、メタノールは常温常圧の液体で取扱いが容易なこと、比較的既存船と類似した同船型にできること、本邦での調達・供給体制も整っていることに加え、重油と比較すると燃焼時の硫黄酸化物（SO_x）、粒子状物質（PM）、窒素酸化物（NO_x）、二酸化炭素（CO₂）の排出量削減が見込まれます。

本船竣工後は、三菱ガス化学株式会社（東京都千代田区:代表取締役社長 藤井 政志）を傭船先とし、国内メタノール輸送に従事するとともに、メタノール燃料バンカリングにも従事する予定です。

加えて、三菱ガス化学株式会社はCO₂や廃プラスチック、バイオマスなどを原料とする環境循環型メタノール構想「Carbopath™」の社会実装に取り組んでおり、将来的には、本船燃料もグリーンメタノールを使用することで、さらなるCO₂排出量削減が可能となります。

本船建造を通じ、内航海運CO₂排出削減目標へ普及促進、脱炭素化への実現に向け貢献して参ります。

「本船の概要」 総トン数 約499トン
全長 約65.00m
全幅 約10.00m
主機関 1000PS 阪神内燃機工業(株)製「LA28MRG」

※本船建造事業は、環境省（国土交通省連携事業）が公募した「令和6年度海事分野における脱炭素化促進事業（うちLNG・メタノール燃料システム等の導入支援事業）」に応募し、採択をうけております。比較対象船舶との比較では、CO₂排出削減効果約17.5%が見込まれます。

以上

【お問い合わせ先】

国華産業株式会社 管理部

TEL:03-6367-5710